

教育委員会だより

第 84 号 令和 5 年 11 月 16 日

編集発行 山北町教育委員会 こども教育課

〒258-0195 山北町山北 1301-4

TEL 0465-75-3648

第3回県立山北高等学校「地域との協働による報告会」～伝えよう山北町に。私たちの気づきと思い～

今年度で3回目となる県立山北高等学校「地域との協働による報告会」を、右のとおり開催いたします。昨年度高校生から提案された「食べ歩きマップ」がリーフレットとなって、公共施設等に置かれています。今年度はどんなアイデアが報告されるでしょうか。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。今号では、山北高校での3年間の「未来探究」（地域協働による探究活動）の学びを紹介します。



山北町や地域住民の方、近隣地域の団体と協働して取り組む山北高校の「未来探究」は、3年間の学びの連続性を大事にしながらか山北町を教材とした課題解決型学習を進めています。

1年 山北町を知る □ 山北町を知り課題を発見する

山北町を「知る」ためにフィールドワークを実施し、山北町の自然、災害、林業体験、特産品、街の発見について情報収集します。そこでの気づき等を、SDGsを視点にした地域探究に繋げ、個々で設定した課題に対しての検証を行うとともに、発表するプロジェクト型学習の手法とスキルを学びます。

2年 地域課題を探る □ 地域活性化のための対策を探る

地域活性化のための対策を探るために、「未病」「地域防災」に分かれて「未病」はBIOTOPIA（大井町）で、「地域防災」は神奈川県総合防災センター（厚木市）で体験学習等を行います。こうした体験学習等を生かしながら専門的な知識を向上させ、「地域の課題は何か」「解決するには何が必要か」を自らが発見し深く探るとともに、探究プロセスを再確認し、更にバージョンアップしたプレゼンテーション手法を習得していきます。

3年 実践する □ 改善策を検討し、研究成果を発表する

自らが研究した内容について、関係機関へ直接連絡してインタビューを行うなどして研究内容をブラッシュアップし、研究内容が生かせる施策を考えて実践します。その取り組みと成果を校内で報告し、代表グループが山北町に「政策提言」として報告します。

【日時】 令和6年1月18日（木）14時～15時40分
（開場13時半）

【会場】 山北町立生涯学習センター

【内容】 第1部…高校生(4グループ)の町への提言
第2部…座談会「山北町の今と未来を語ろう」

★登壇者：教育ジャーナリスト・高校生・卒業生・山北町民

*手話による通訳を行います。



令和4年度報告会提案で実現した「食べ歩きマップ」リーフレット
探究活動を振り返って



食べることが好きなので山北の美味しいものをもっと沢山のの人に食べてもらいたいと思い、4人で制作しました。自分たちのアイデアを実際に実現することができ、とてもいい経験になりました。(R.T)

今回の探究活動を通して、自分の足で町を散策することで、山北町の方の温かさや魅力に触れとても充実した学習活動を行うことが出来ました。今回足を運んだ場所以外にも魅力のある素敵な町なので、たくさんの方に知ってほしいです。(S.I)

当初の発表の話し合いでは全然違うものを企画していましたが、美味しい物を食べたいという言葉だけで自ら制作したマップが実際に配布されるということに驚きです。マップに記載されているお店に是非行ってみてください!! (S.N)

今回の探究活動で、今まで全く知らなかった山北のお店を調べて、自然豊かなところで雰囲気が落ち着いてリラックスできるような素敵なお店が何軒もあって嬉しかったです。(M.S)

『令和5年度 野外体験活動研修会 わくわく自然教室』を開催しました!!

令和5年9月9日（土）西丹沢中川ロッジにおいて、野外体験活動研修会わくわく自然教室が4年ぶりに開催されました。お手伝いいただく青少年指導員の皆さんは5月に研修会を行い、子どもたちを安全に受け入れる体制を整えてくれました。

当日は、申込みをした23名の小学生に中学生ボランティアも加わって体験活動を行いました。アイスブレイク・KY（危険予知）活動などのレクリエーションを行ったあとは、牛乳パックで作るご飯やマシュマロクラッカーなどの野外炊事、「のこぎり」や「やすり」を使った竹鉄砲作りを学ぶなどしました。

普段の生活とは違うスペシャルな体験ができたことは、子どもたちにとってとても有意義で、楽しい1日となったようです。



10月19日（木）、山北町教育研究会全員参加公開授業研究会が山北中学校で開催され、全学級が授業を公開しました。どの授業も、はじめに全員で共有した学習テーマに向かってグループで話し合ったり前に出て自分の考えを説明したりしながら、協働的な学びをとおして個々の考えを深めたり技能を高めたりしている姿が見られました。

園・小・中の教職員で構成された授業後の部会別協議では、発達段階に応じた教育・保育活動への相互理解と学びの連続性についての意見交換等が行われ、教職員同士の顔の見える関係性もより深まった「学びの秋」となりました。



一人1台端末の導入から3年、多くの教科等で文房具のようにタブレットを使いながら自分やグループの考えを発信し、共有する授業スタイルがスタンダードになっています。

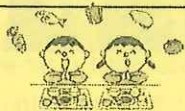
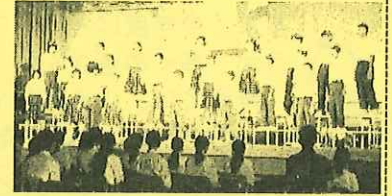


各クラスに分かれて行われた部会別協議では、授業の中で見取った子どもたちの姿を手がかりに、園・小・中それぞれの立場で山北の子どもたちに育む力を考えました。

♪中学生の歌声に憧れて…

山北中文化祭の合唱コンクールを川村小6年生が初めて鑑賞しました。混声合唱の美しさと迫力を目の当たりにした6年生の真剣な姿は、憧れの思いに満ちていました。

こうした様々な行事をとおした交流も、小中の滑らかな接続につながっていきます。



食育は幼少期から

山北町の3園では、やまきたこども園の調理場で作った給食を毎日食べています。井上栄養士によると、家庭であまり食べられていない乾物や豆製品などを取り入れた和食を、味付けや柔らかさを調整して定期的に提供することで、子どもたちが好きになってくれるよう献立を工夫しているそうです。幼少期に色々な味や食材に出会うことはその後の味覚



給食を作っている様子



給食を食べている園児に声をかける栄養士

の基礎になるとも言われます。また、できるだけ給食時間に子どもたちの所に行って会話を交わすことで、食育につながるヒントを見つけることもあるということでした。友だちとテーブルを囲みながら「おいしいね!」と夢中になって食べる園児たちは笑顔いっぱいです。

山北町では、園小中が連携して0歳から15歳までの一貫した食育カリキュラムを作成しています。食べることに興味をもち、食をとおして心身ともに健康な子を育むために食育を推進していきます。

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

令和5年4月18日に小6・中3を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」結果からの町の状況や改善策を、町ホームページに11月下旬に掲載します。

教育委員会の開催事項

令和5年

(第8回～第10回・協議会)

○第8回(8月28日)

- ・教育長報告
- ・山北町教育委員会個人情報保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

○協議会(8月28日)

- ・第72回足柄上郡総合体育大会の結果について
- ・第2回やまきたスポーツの秋祭りについて
- ・「山北のお峰入り」ユネスコ無形文化遺産記念公演について

○第9回(9月22日)

- ・教育長報告
 - ・山北町教育委員会委員の選任について
- 協議会(9月22日)
- ・令和5年度文学歴史散歩について

○第10回(10月20日)

- ・教育長報告
- 協議会(10月20日)
- ・総合教育会議について
 - ・学校訪問について
 - ・令和5年度やまきた町民文化祭について
 - ・第45回丹沢湖マラソン大会参加申込状況等について
 - ・令和5年度山北町人権講演会について
 - ・ライブ・イン・山北2023について



YAMAKITA